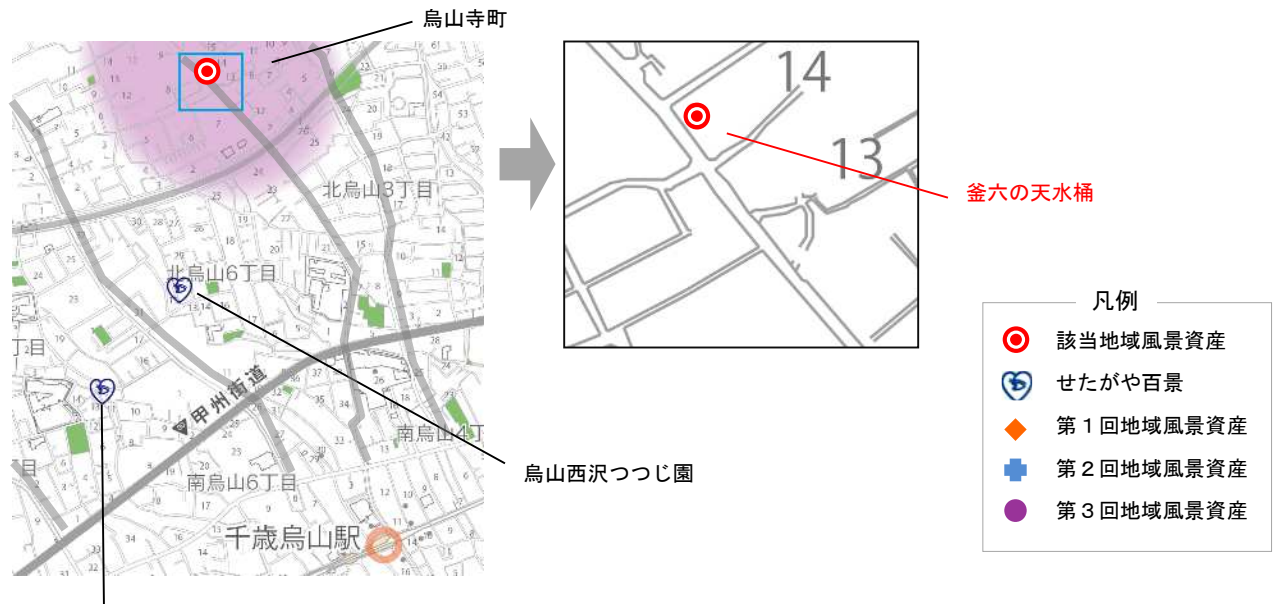


●名称

釜六の天水桶

●住所 世田谷区北烏山四丁目 14 番 1 号

●位置図



給田小学校の民俗館

●地域風景資産の特徴

この天水桶は、江戸時代から明治時代まで続いた鑄工「六右衛門（通称：釜六）」が鑄造したものである。戦時中の金属供出を逃れ、烏山寺町では唯一残る江戸時代後期の天水桶である。

この界わいは、大正12年の関東大震災以降に都心等から移転してきた寺が集まっており「烏山寺町」と呼ばれている。



●地域風景資産の選定の背景等

烏山寺町は、世田谷の小京都とも呼ばれ、歴史的・文化的な資源の豊富な地区である。釜六の天水桶のように多くの文化財的資産が残され、みどりの豊かさを含め、落ち着いた風景をつくりだしている。このような地域の特性を活かし、多くの住民とともに風情ある街並みを形成していくことが期待される。

●備考

源正寺の拝観時間による